

令和元年度第1回 文化財保護委員会 抄録

1 市民憲章唱和

2 辞令交付

3 新任委員自己紹介

(片岡委員)

4 事務局職員紹介

(近藤部長、近藤課長、齋藤課長補佐、中村主査、榊原主事補)

5 教育長あいさつ

6 委員長あいさつ

7 協議事項

(1) 平成30年度文化財保護関係事業結果について

(事務局)

【資料説明】

- ・文化財新規指定1件
安城北部小学校のなんじゃもんじゃの木
- ・文化財管理調査
昨年度調査対象であった「浄玄寺 紙本墨書 六字名号」が今年度補助金の交付対象になり修理が開始される。
- ・文化財保存事業補助5件
本證寺「鼓楼」修繕
神光寺「薬師如来再興縁起」修繕
丈山文庫 石川丈山書跡「以文常会友」修繕
誓願寺「伝内藤清重・清長墓碑」修繕
誓願寺「絹本着色方便法身尊像」修繕
本證寺鼓楼修繕にあたっては、外側の塗装と雨戸を修繕した。
- ・本證寺境内整備事業に伴う用地買収計画の実施 (約 2854 m²)
- ・本證寺史跡公園ワークショップ委託 (6回)
- ・姫小川古墳崩落防止対策検討会議の開催 (2回)
- ・姫小川古墳の発掘調査について
- ・本證寺境内の発掘調査について

(委員)

なんじゃもんじゃの木の衰弱に関する詳しい説明

(2) 令和元年度文化財保護関連事業計画について

【資料説明】

(事務局)

- ・文化財保存事業補助 3 件

高棚町内会「木造薬師如来坐像」修繕予定

浄玄寺「紙本墨書 六字名号」修繕予定

大乘寺「本多忠高墓碑」修繕予定

- ・文化振興計画策定

安城市教育大綱に基づき、今後 10 年間の計画を作っていく予定。

- ・史跡整備事業

本證寺境内整備事業 (約 2854 m²を買収予定)

- ・(仮称) 本證寺史跡公園ワークショップ委託

今年度は全 9 回開催予定

- ・本證寺フェスティバル

今年はクリス・グレン氏の講演会。

来年度は赤塚次郎氏を予定。

- ・文化財悉皆調査

(委員長)

・赤塚次郎氏の出演について、資料に「不確定」とあるが、これは「予定」という意味で合っているか。

- ・文化振興計画について、学識の高い方を交えてじっくりと審議をしていただきたい。

(委員)

- ・文化振興計画について、委託料はコンサルタント分も入ったの予算なのか。

- ・文化振興計画について、文化財保護委員はどのようにかかわっていくのか。

- ・文化振興計画について、どのようなことを決めていく計画になるのか。

・文化振興計画について、他自治体が策定している歴史文化基本構想や文化財保存計画とは違うものになるのか。

・木造薬師如来坐像について修繕する方は地元の方であったという話であったが変更はあったか。

(3) 今年度の安城市内の指定文化財の管理調査について

【資料説明】

(事務局)

・市内にある指定文化財 228 件のうち、在家のものや気にかけておくべき史料を含めた約 100 件を 3 年に 1 回調査できるように計画を立てている。今年から 2 巡目の年になる。

- ・今年も事務局で 3 つの班を編成した。

- ・各委員の専攻分野に従って班を編成。

- ・委員の中で昨年度気になり今年も確認したいものがあれば、伝えてほしい。

(委員長)

- ・管理調査に委員が気になったものを新しい指定文化財を見つけるというのはどうか。
 - ・文化財保護に市民が関心を持っていない。巨額の資金を小さな町内会では賄えきれない。
- この2つの問題が文化財保護に関する問題である。

(委員)

- ・委員が気になっている文化財をまとめて事務局に渡してほしい。
- ・昨年度の管理調査で状態が危険と判断した大岡白山神社本殿のその後の対応がどうなったのか

- ・市民の文化財保護意識をどう高めていくべきか。
- ・行政側も文化財保護について早急な対応がひつようではないか。
- ・資金が大きな問題になっている。
- ・資金集めにも「ふるさと納税」といった方法があるのではないか。

(4) 絹本着色 聖徳太子絵伝 他の修理について

- ・聖徳太子絵伝と善光寺如来絵伝、合わせて14幅に修理が必要という意見が出ていた。
 - ・今年度の5月24日に文化庁調査官、愛知県教育委員会、安城市教育委員会、松鶴堂、大阪市美術館、サントリー美術館、中之島香雪美術館が検分に参加した。
 - ・検分結果は「根本修理が必要なものもあるがすべてではない。幅によって異なる。」
 - ・聖徳太子絵伝8幅については根本修理が必要。聖徳太子絵伝7幅と善光寺如来絵伝4幅については軽微な修理でよい。
 - ・今後の流れは
- ① 本證寺が修理業者を決める。
 - ② 処置によって3つの状態に分類し、カルテを作成する。
 - ③ 設計書と見積書を作成する。
 - ④ 国庫補助金を申請する。
- ・修理の開始は令和5年頃と考えている。

(委員)

了承

(5) その他

(委員長)

- ・安城の三河万歳保存会の最大の問題点は若い世代、後継者がいないということ。

(委員)

- ・事務局の名簿がないので作成していただけるとありがたい。
- ・無形民俗文化財は伝承という部分、後継者問題がある。
- ・埋蔵文化財センターが発行している「発掘調査報告書」が非常にわかりやすい。こうした文化啓発事業は素晴らしい。

8 報告事項

(事務局)

- ・今年度の本證寺フェスティバルではラジオパーソナリティのクリス・グレン氏の講演会を行った。
- ・史跡公園本證寺のためのワークショップ「未来寺子屋」は今年度も開催する。